

# 岩伏山 標高982.9m 一周約3時間30分

東は駿河、西は尾張。南は三河、さらに北は信州を見渡せるその山頂には、信玄が使用した狼煙があったとされている岩伏山。各所にはその名のおり岩が重なり、人と自然の時の流れを感じさせます。

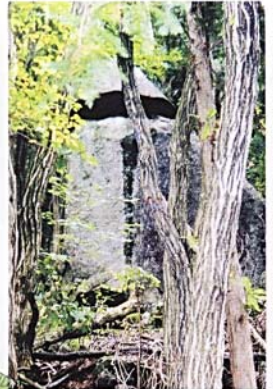
- 9 炭焼小屋跡  
炭を作る炭焼小屋跡が見られる。昔ここに住んでいた村人の生活の一部がかいま見れます。
- 8 笠石  
角張った岩の上に平たい岩があたかも笠のように乗っています。人の仕業が自然の力か。
- 7 山頂 (982.9m)  
南北の見晴らしはおすすめです。南には段戸山。北には南アルプス。三方原・長篠の戦で使用されたといわれる狼煙の跡もあります。
- 6 山小屋  
ちょうど疲れがみえ始めるころ、休憩できる山小屋に付きます。周りは、湿地帯でワサビ・クレソン・ミズバショウが見られます。
- 5 災害跡地  
平成12年9月の大雨で山肌が崩れ、周りの木々が倒されたままになっており、当時の雨量を物語ります。
- 4 山姥洞窟  
昔山姥が住んでいたと言われている洞窟です。ちょっとのぞいてみましょう。
- 3 登山道入り口  
看板が立っています。杖の無料貸し出しもあるのでぜひどうぞ。
- 2 津島神社  
岩伏山の登山口。無事登山ができるようにお祈りを。
- 1 アグリステーションなくら  
準備を整えいざ出発！



石階段



急坂に生える熊笹



8 笠石



6 山小屋休憩所



5 災害跡地

